

# 育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

## 子どもリーダー研修生着物姿でお正月遊びと文化体験

中原区子ども会連合会 子どもリーダー養成部長 野口 義明

中原区子どもリーダー研修生(小学4～6年生)は、研修プログラムに沿って、八ヶ岳2泊3日宿泊研修、地域歴史巡りや遊び、ゲーム等研修を通じてリーダー養成活動を行っています。

新春早々1月19日(土)「東海道かわさき宿交流館」主催の体験行事に参加しました。参加者は研修生他36名、役員引率者含め17名(総勢53名)でした。全員が江戸時代の着物姿に変身し、女性は豪商の娘、町娘、浴衣、姫、武家婦人、腰元など、男性は新選組、忍者親子、浴衣、殿様、若者などで、会場内は江戸時代にタイムスリップしたかの様でした。

江戸時代から続く遊びも着物姿で、羽根つき、けん玉、投扇興、三味線、すごろく、福笑い、か

るた、お手玉などを二班に別れて楽しく体験しました。会館外では、人力車「親子同乗体験」で着物姿で京急川崎駅近く迂回体験も圧巻でした。

また、福田市長も会場を訪れて、きもの姿の研修生に「楽しいですか?着物姿がいいですね。」と親しく話しかけられ、一緒に記念写真に収まり、自らも投扇興や三味線見学を楽しまれました。

今回の体験研修は昼食も「奈良茶飯」と言って江戸時代の旅人川崎宿で食べたであろう豆類入りおにぎりで、名残の一品でした。

平成30年度の最終体験研修として、かわさき宿で東海道の江戸歴史に触れる貴重な体験研修となりました。



## スキー合宿

川崎海洋少年団 山岡 修

早春、暖かくなり桃の開花がささやかれる川崎から、公共交通機関を乗り継ぎして、いくつかのトンネルをくぐり、約2時間で白銀の軽井沢プリンスホテルスキー場へとやってきました。スキーを目的として、3月2日(土)～3日(日)の1泊2日で合宿を行いました。

みんなが久しぶりにスキーをするため、最初の難関はスキー靴、スキー板をレンタルすることから始まりました。一般客も混ざりてんやわんやの騒ぎでようやく支度を整えることができました。

各自の準備体操後、スキーの初心者はいませんでしたので、ゴンドラに乗り山の頂上を目指しました。足慣らしをしなければなりませんので、ゆっくりと自分のペースで滑り出しました。スキー

の板に慣れ、だんだんスキーを滑る感覚が戻り、思い通りのシュプールを描けるようになりました。

ランチを休憩でおなかを満たしながら、午前中のスキーの滑りについての反省をし、午後のスキーに臨みました。

午前中は滑りやすい雪質でしたが、天気良かったため午後の雪は解け始め重くなり、滑りに注意しなければならなくなり、雪の塊にスキー板が引っ掛かりバランスを保つのに苦労しました。

久しぶりのスキー合宿を行いました。それぞれが楽しんだことでしょう。全プログラムが終了し帰りの駅に向かう途中に、雪がはらはらと舞いながら雪に見送られ軽井沢を後にしました。



## 中高校生リーダー研修委員会に参加して

### テーマ「平成最後の挑戦」

平成30年11月17日～18日

場所：黒川青少年野外活動センター

参加者：40名

天気：晴れ



### プログラム

- ・アイスブレイク ゲーム
- ・テント設営
- ・ピザ作り バーベキュー
- ・キャンプファイヤー
- ・情報交換

委員長 高1 泉山 健

(日本ボーイスカウト川崎地区協議会)

いつも参加者側として参加していたのですが、今回初めてスタッフとしてこの研修会に参加しました。やはり初めての委員長ということで会議から話がまとまらず大変でした。話の進め方も分からず戸惑いながらも会議をこなし、当日になり、勝手がわからず初めは開会式の言葉ですっと緊張していましたが、1日目が終わわり、2日目では緊張せずに、のびのびと委員長としての活動ができました。

このリーダー研修を終えて感じることは、3団体が力を合わせて1つの企画を成功させるという連帯感とそこで芽生えた友情です。



中1 文屋 晴 翔

(川崎市子ども会連盟 宮前区)

初めての中高校生リーダー研修会はとても楽しかったです。JLとして成長した所がたくさんありました。例えを挙げるとしたらボーイスカウトの人にレクを教えてもらったりしたことです。テントはめちゃ楽しかったです！当分テントに入って寝ることはないと思うのでいい経験でした。

来年もこのような機会があれば参加したいです



中2 川野 史帆里

(ガールスカウト川崎市連絡会)

私は委員として初めて参加しました。会議を重ねていく中で初めてのことがたくさんあり、不安な点もありました。また、研修会は2日目からの参加となってしまう、すでに打ち解けているみんなの中に入るのも心配でしたが、お互いの団体を知って打ち解けることができ、楽しく活動できました。

今回の研修会を通して、私は一つのイベントを企画し、実行するにはたくさんの時間が必要だということを知りました。そしてたくさんの時間を費やすからこそいいイベントを完成させることができるということ学びました。

参加を重ねて多く学び、人をまとめていけるようになりたいです。



## ガールスカウトの活動

ガールスカウト川崎市連絡会

### 【テンダーフットとブラウニーのつどい】

11月18日「藤子・F・不二雄ミュージアム」に行ってきました。藤子・F・不二雄さんが描いた原画を、専用の音声ガイド「おはなしデンワ」を耳に当てて丁寧にみることができました。愛用の仕事機の展示は「先生の部屋」、生田緑地を望む屋上にある「はらっぱ」には土管やピー助、どこでもドアなどがあり、ミュージアムの「やさしい思い」「あたたかいまなざし」をゆっくりと楽しむことができました。



### 【ジュニアの集いを終えて】 第32団 高橋美啓

9月23日、24日ジュニアの集いに参加しました。活動で国立オリンピック記念青少年総合センター、NHKスタジオパーク、ガールスカウト会館、明治神宮に行きました。その中でも心に残っている場所は、ガールスカウト会館と国立オリンピック記念青少年総合センターです。ガールスカウト会館では過去の制服や実物の写真がありました。昔はワンピースだったけれど、今はキュロットで長ズボンも選べるようになりました。

国立オリンピック記念青少年総合センターは1965年の東京オリンピックの時、選手村として使われたそうです。今は宿泊所として使われています。私が1泊して感じたことは、長い間大事に使われていてすごいと思いました。私は2020年の東京オリンピックが楽しみにになりました。



### 【シニア・レンジャーのつどい】

シニア・レンジャーのつどいとして、9月9日「フォレストアドベンチャー・箱根」に行ってきました。普段、なかなか集会に参加できないスカウト達ですが、7名のスカウトが参加し、楽しい活動になりました。

#### 第32団シニア 秋山夏鈴

他の団の子たちと参加したけど、年齢関係なく話しかけてくれて、すぐに仲良くなることができました。同じ団の子とはずっと活動していくけど、他の団の子は、あまり会う機会がないので、仲良くなれて良かったです。

この活動で学んだことは、自分から積極的に話すことです。私は、自分から積極的に話すことができなくて、一緒にアスレチックをやった子たちは積極的に話しかけていたので、すごいなと思いました。今後は、ブラウニーなどに積極的に話せるようにしたいです。



## 「福は～うち！」毎年恒例 登戸稲荷社 豆まき！

多摩区子ども会連合会 広沢誠一

毎年恒例の登戸子ども会主催の節分祭を去る2月3日(日)盛大に開催しました。

今年で第34回目を迎える節分祭の始まりは、登戸地区で生まれ育った子ども達の思い出作りの一つとして始められたと聞いています。地元の神社である登戸稲荷社は、生産の神、五穀豊穡の神である宇賀(うか)の魂(みたま)大神(おおかみ)が祭られており地元で古くから親しまれています。

当日は朝早くから子ども会長、子ども会役員をはじめ青少年指導員やスポーツ推進委員も動員して準備が進められました。豆まき参加者は、年男・年女の子ども会会員、子ども会役員、一般参加者や崇敬会、地元選出の議員の方々で今年は38名となりました。

神殿での神事の前には地元のお母さん手作りの袴をまとい、邪気祓い、無病息災をお祈りしました。その後、檀上に並び司会者による紹介を受けた後は一升餅に入った豆やたくさんのお菓子を「福は～うち！」の掛け声とともに豆まきが一斉に始まりまし

た。境内には、溢れんばかりに集まった子どもを始め、大人達も福をつかもうと大いに盛り上がりました。子ども達にとっては子どもとして一生に一度の経験であり、初めは恥ずかしがっていた顔が終わる頃には満面の笑みに変わっているのが印象的でした。

これからも昔から伝わる伝統文化を大切に、子ども達の思い出作りを手伝っていけたら幸いと考えています。



## 川崎地区ボーイスカウトの活動

日本ボーイスカウト川崎地区協議会 スカウト支援委員会 スカウト担当長 井上 景

### ●川崎地区スカウトラリー

2018年9月23日、ボーイスカウト川崎地区主催の「スカウトラリー」が生田緑地で行われました。

この「スカウトラリー」とは、川崎市内のスカウト・リーダーが集まるボーイスカウト川崎地区最大のイベントです。年1回この時期に実施しています。今回は、11の団、600名以上が参加しました。

ビーバー隊、カブ隊のスカウトたち(小学生年代)は、生田緑地内に用意された工作やゲームに参加。また、ボーイ隊のスカウトたち(中学生年代)は生田緑地全域を使ったオリエンテーリング風ゲームで普段学んでいる技能を使ってゲームに参加しました。それぞれが楽しい1日を過ごしました。

最後に枳形山の広場でセレモニーが行われ、解散となりました。



### ●第47期白梅隊

2018年10月7～8日、第47期白梅隊の1泊ハイキングが実施されました。この「白梅隊」は、ボーイスカウト川崎地区が主催するボーイ隊のスカウトたち(中学生年代)が対象の約3か月間の合同プログラムです。この第47期には19名が参加しました。結成は9月1日。1～2日に行われた集会でハイキングについてレクチャーを受け、当日までにそれぞれが計画書を作ります。

そしてメインの1泊ハイキング。コースは、JR足柄駅を出発し、矢倉岳を登り、夕日の滝でテント泊。翌日は金時山に一気に登り、JR御殿場駅を目指します。テントや食料など、すべての装備を持つでの長時間ハイキングは初めてのスカウトも多く苦労はあったものの全員が無事ゴールできました。

その2週間後、雨天で延期になっていた大型工作物を作成する集会を行って、今期の白梅隊は終了しました。

この経験をぜひ今後の活動に生かしてもらいたいものです。



### 「子ども110番」を知っていますか？

子どもたちが登下校時や公園、広場などで不審者に声をかけられたり、つきまとわれたりして、危険にまきこまれそうになった時、子どもたちを安全に保護し、関係先に連絡していただける民家や商店、事業所などを「子ども110番」と呼んでいます。川崎市では、ドラえもんステッカーがついているところが協力施設となっています。

(問合せ) 川崎市子ども未来局青少年支援室

電話 044-200-2669・FAX 044-200-3931

発行 川崎市青少年育成連盟  
事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10  
生活文化会館(てくのかわさき)3階  
TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、  
川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社